

# 美濃病院で

# 定期的な「がん検診」「内視鏡検査」を!!

現在、日本では胃がんにかかる人は男性で年間9万人、女性で年間4万人くらいいます。また、大腸がんにかかる人は男性で年間7万7千人、女性で年間5万7千人くらいいます。

そして、胃がんで亡くなる人は、男性で年間3万人、女性で年間1万6千人くらい、大腸がんで亡くなる人は、男性で年間2万6千人、女性で年間2万2千人くらいになっています。

多くの人が、胃がんや大腸がんにかかって亡くなっています。

しかし、現代の医学では、胃がんや大腸がんは、早い段階で発見できれば「治る病気」になっています。

早期発見のためには、定期的ながん検診や内視鏡検査の受診がとても重要です。

そこで、美濃市のがん検診受診率はどうでしょうか？

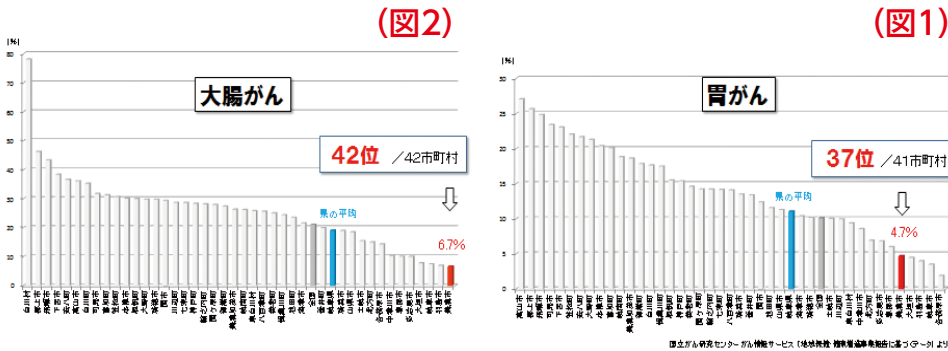
「胃がん検診」受診率は4.7%と低く岐阜県内41市町村中37位となっています。(図1)

では、「大腸がん検診」受診率はどうでしょうか。こちらも図2のように、6.7%と低く、なんと岐阜県内42市町村中、42位と最下位となっています。

検診を受診しないことは、治るはずのがんを見逃し、最良の治療を受ける機会を失うことにつながります。

美濃病院では昨年7月に「みの健康管理センター」を開設し、健診・人間ドックの充実を図り、市民の皆さんがより安全で安心して快適にがん検診を受けていただけるよう施設を整えてきました。

美濃市のがん検診受診率(平成24年) 岐阜県内の市町村別比較

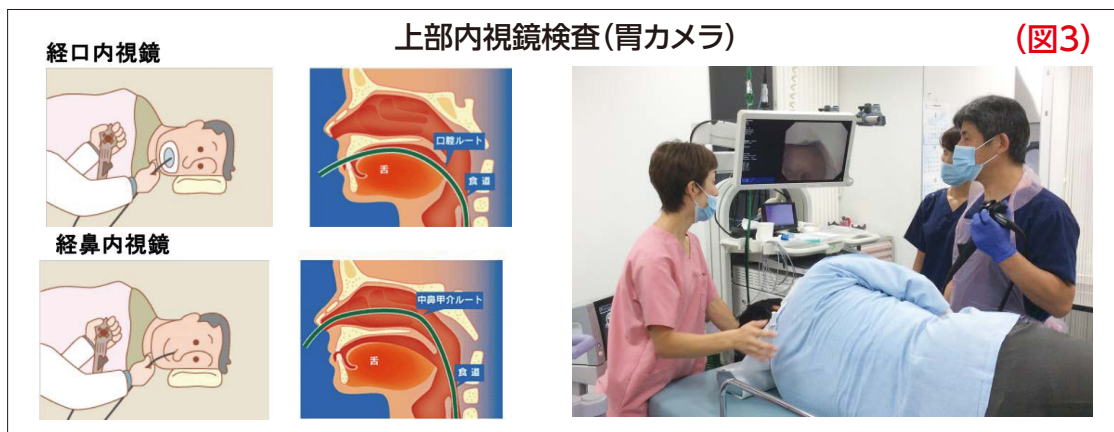


また、今年4月から内視鏡検査・治療歴22年(胃内視鏡検査約16000件、大腸内視鏡検査約14000件)、岐阜県総合医療センターで11年間、胃がん・大腸がんの内視鏡治療(胃がん約400件、大腸がん約90件)を手がけてきた芋瀬医師が着任し、内視鏡検査・内視鏡治療の充実した体制を整えています。

よく「胃カメラを口から入れるのは、大変きつくて苦しい」という声を聞きますが、内視鏡を鼻から入れる「経鼻内視鏡」も選択できます。(図3)

また、内視鏡検査の際には、鎮静剤という、眠れる注射による麻酔を使用し、内視鏡検査を受診することも選択できます。

現在では、皆さんの想像以上に、楽に内視鏡検査や治療が受けられます。



### 胃がんの内視鏡治療 (図4)



早期胃がん  
円の中央に見えるのが胃がんの患部です。  
がんの患部を内視鏡高周波メスで切除して行きます。  
切除されたがんの患部の標本です。

では、早期に発見できた胃がんや大腸がんの治療の様子をお見せします。  
図4は、胃がんの内視鏡治療の様子です。外科で開腹手術することなく、内視鏡で切除できます。痛みもなく、数日間の入院で済みます。  
図5は、大腸がんの内視鏡治療の様子です。やはり内視鏡で切除できます。痛みもなく、手術したその日から普通に歩くことができ、翌日には食事もおべられます。

### 大腸がんの内視鏡治療 (図5)



早期大腸がん  
中央の棒(内視鏡)の先に見えるのががんの患部です。  
がん患部を内視鏡高周波メスで切除して行きます。  
がん患部が切除された様子です。

このように、胃がんや大腸がんは、早い段階で発見できれば内視鏡治療で、開腹手術をすることなく、術後の身体へのダメージを最小限に抑えた治療が可能です。治るはずのがんを見逃し、最良の治療を受ける機会を失うことのないよう、がん検診や人間ドックを必ず受診しましょう。



## この度、美濃病院に赴任しました!!

【内科医師】 平田 はるか

9月1日より、岐阜大学病院から赴任して参りました。専門は糖尿病内科で、主に糖尿病の血糖管理、インスリン管理、食事療法などを診療してきました。何卒よろしくお願ひ申し上げます。